

小松島市の社寺建築

社寺建築班（郷土建築研究会）

中野 真弘^{1*} 橋本 美保² 黒崎 仁資³ 坂口 敏司⁴ 酒巻 暢代⁵

要旨：神社本殿は大半が流造^{ながれづくり}であり、春日造^{かすかづくり}が2社、入母屋造^{いりものやづくり}が1社、神明造^{しんめいづくり}が1社見られた。規模は一間社の本殿がほとんどで正面一間、側面二間の本殿が1社、三間社の本殿が1社見られた。神社境内に伝統的な農村舞台は確認できなかった。明治期と大正期にそれぞれ建立された多宝塔を確認した。今回の調査で確認できたお堂・お庵は1件で閉鎖型であった。

キーワード：流造、春日造、入母屋造、神明造、三間社、近代に建立された多宝塔、阿波狸の祠や小社殿

1. はじめに

小松島市は、徳島県の東部中央、紀伊水道沿岸に位置し、北から西へ徳島市、勝浦町、阿南市と接する。北西部を勝浦川、南部には那賀川が流れ、市域の7割が平地に恵まれ、東部は小松島湾に望む古くからの港町である。

私たち社寺建築班は、令和3年7月31日から延べ8日間で、小松島市にある神社81社、寺院（お堂・お庵を含む）18カ寺を建築学的見地から調査し、案

内図（後掲の図5）を作成し、それぞれの建築年代や構造、建築様式などを一覧表（表1・2）にまとめた。そのうち神社3社、寺院1カ寺について詳細調査を行い、実測図を作製した。建築年代については、書籍や棟札から確認できるもの以外は、建築様式から推察した。

なお、小松島市の社寺建築に関する既往調査としては、徳島県の近世社寺建築緊急調査（平成2年3月徳島県教育委員会）が行われ、その調査報告書には本市の神社本殿1社（坂野町の島宮神社（図1））と寺院4カ寺が取り上げられている。すでに発行から30年が経過しているため更新の状況についても確認した。

2. 神社建築の概要

小松島市の神社建築の調査では、本殿を木造や石造、モルタル造などの小社殿や拝殿内に宮殿などを安置するものが多く見られた。内訳は木造宮殿4件、小社殿では木造10件、石造3件、モルタル造5件で合計22件であった。また、拝殿などのなかに安置されているため本殿の形態を確認できなかったも



図1 島宮神社本殿

1 真建築都市研究室 2 遊木民 3 黒崎建設 4 坂口建築設計室 5 阿波市役所
 * 〒771-0117 徳島市川内町鶴島115-3 sinsin@nmt.ne.jp

のが11件、^{おおいや}覆屋に囲まれて本殿の形態を確認できなかつたものが3件あった。

確認できた宮殿や小社殿を除く神社本殿の様式では、春日造が2社（中田町の東八幡神社と中郷町の天満神社）、入母屋造が1社（和靈神社・地蔵寺境内鎮守）、神明造1社（小松島大神宮）以外は、すべて流造であった。

春日造とは春日大社本殿の建築様式で、切妻、妻入りの本殿正面のみに庇を付けた建物である。神明造とは伊勢神宮の皇大神宮（内宮）・豊受大神宮（外宮）両宮の正殿（本殿）の様式である。また流造は切妻、平入の本殿正面の屋根を伸ばして向拝としたもので、県内においても圧倒的に多く、全国的に最も分布している様式である。



図2 陶木神社本殿

規模は本殿正面柱間の数で表し、
はしまま
田野町の天王神社は三間社で、中田町の東八幡神社は正面一間側面二間、その他はすべて一間社であった。本殿の構造は木造をはじめ新しいものでは鉄筋コンクリート（RC）

造もみられるなかで、和田島町の陶木神社本殿（図2）は、昭和5年建立の石造（花崗岩）の一間社流造で、本格的な石造本殿は県内では希少である。

本殿を拝殿内に安置するものや独立した本殿を覆屋で囲むものは、他の地域でもみられるが、中田の東八幡神社や中郷町の天満神社など、本殿の向拝側を拝殿などの屋内に取り込み、背面側半分を外部に表す形態のものが数多くみられた。徳島県の近世社寺建築調査報告書に取り上げられている坂野町の島宮神社は、平成2年の調査時のまま維持管理されていた。

神社境内にある石造物では、花崗岩でつくられた鳥居が多くみられたが、様式のほとんどが明神鳥居で、台輪鳥居6社、^{みょうじん}神明鳥居1社を確認した。確認できたもののうちでもっとも古いものは、立江町の八幡神社の明神鳥居で享保16年（1731）（花崗岩）で



図3 草創神社地鎮塔

あった。今回調査した神社境内にある地鎮塔については（表1）にまとめた。五角形の地鎮塔の古いものは撫養石（和泉砂岩）でつくられたものが多く、新しく造り替えられたものには花崗岩のものが見られる。撫養石は風化しやすく造られた年代を判読するのが困難なものが多いため、24基のうち前原町の草創神社の地鎮塔（図3）は、宝暦10年（1760）（撫養石）であった。また、民話「阿波狸合戦」に出てくる金長たぬきを祀った金長神社をはじめ、阿波狸の祠や石碑などが数多くみられた。今回の調査では、神社境内において伝統的な農村舞台は確認できなかった。

3. 寺院建築の概要

小松島市には、四国霊場八十八カ所の札所寺院である恩山寺や立江寺、松島町の地蔵寺のように大規模な伽藍を有する寺院があり、江戸時代後期から近代に建立された堂宇が市街地に数多く現存する。近世に遡る寺院建築としては、徳島県の近世社寺建築緊急調査報告書に取り上げられている寺院4カ寺



図4 成願寺 本堂



図5 社寺建築案内図（1神社 ②寺院 ▲お堂・お庵）

(恩山寺・地蔵寺・法泉寺・成願寺(図4))があり、現在も平成2年の調査時のまま維持管理されていた。

また、近代に入って建立された二つの多宝塔、明治16年(1883)に建立された地蔵寺の多宝塔と大正7年(1918)に建立された立江寺の多宝塔を確認し

た。江戸時代後期から近代に建立された寺院建築が現存することを確認するとともに、あらたに地蔵寺大師堂の詳細調査をおこなった。

また、今回の調査で確認できたお堂・お庵は1件で閉鎖型であった。

表1 神社建築調査一覧表

神社名	鎮座地	創建	祭神	旧社格	鳥居様式(材料)
1 開基神社（かいき）	小松島市江田町字大江田76	不詳	天御中主命	旧村社	明神・文化8年（花崗岩）
2 日峯神社	小松島市中田町字西山92	天平勝宝2年（750）	大日靈貴神 少名彦命 市杵島比女神	旧村社	明神・明治36年（花崗岩）
3 沖神社（おき）	小松島市中田町字東山93の2	不詳	大綿津見神 猿田彥命 天宇豆女命	旧村社	明神・文久2年（花崗岩）
4 金長神社	小松島市中田町字脇谷	昭和31年	金長大明神	—	明神・昭和31年（花崗岩）
5 金長神社奥の院_金長神社本宮	日峰山麓	昭和初期頃	—	—	木造鳥居崩壊
6 小松島大神宮（市史は天照大神）	小松島市中田町字奥林29の3	明治13年	天照大神	旧無各社	神明・昭和55年（花崗岩）
7 東八幡神社	小松島市中田町字千代ヶ原33の4	不詳	譽田別命（市史は応神天皇）	旧郷社	明神・昭和37年（花崗岩）
8 細川神社	小松島市中田町寺前27（桂林寺境内）	—	細川持常	—	
9 建島女祖命神社（たつしまめおやのみこと）（市史は建島神社）	小松島市中田町字千広見42	不詳	建島女祖命 應神天皇（市史は建島女祖下照姬）	旧村社	神明・昭和57年（花崗岩）・台輪・嘉永3年（花崗岩）
10 井内神社	小松島市中田町字元根井	天保8年（1837）	—	—	明神・平成16年（花崗岩）
11 八坂神社	小松島市松島町11の40	天禄3年（972）（市史は天禄4年）	素戔鳴命 大己貴命 奇稲田姫命	旧村社	明神・昭和3年（花崗岩）
12 櫻神社	小松島市小松島町房浜	—	少彦名命	—	明神・新しい（木造）
81 和霊神社（地蔵寺鎮守堂）	小松島市松島町11-26（地蔵寺境内）	—	和霊祭神	—	台輪・（花崗岩）
13 蛭子神社	小松島市横須町144	江戸初期	事代主命	旧無各社	明神・大正12年（花崗岩）
14 若宮大明神社	小松島市横須町9の29	不詳	大年神（市史は大地主神）	旧無各社	明神・昭和39年（花崗岩）
15 お玉神社	小松島市横須町1	昭和初期	お玉大明神	—	
16 豊國神社（とよくに）	小松島市中郷町字豊ノ本4	慶長19年（1614）	豊臣閑白（市史は豊國大明神）	旧無各社（市史は旧村社）	明神・文化6年1806（花崗岩）
17 天満神社	小松島市中郷町字桜馬場104	不詳	菅原道貞公	旧無各社	明神・平成5年（花崗岩）
18 王子神社	小松島市中郷町字西久保42番地	—	—	—	明神・（人造石洗出）
19 地神社	小松島市金饅町字利尻	—	天照大神 誉田別尊 弁財天 大山祇命 等	—	明神・平成6年（花崗岩）
20 弁財天（恩山寺奥之院）	小松島市金饅町3-43（宇蓬葉山）	天平年間	—	—	明神・文政6年（花崗岩）
21 草創神社（そうぞう）	小松島市前原町字宮22	不詳	国常立命 天照大神	旧村社	明神・大正4年（花崗岩）
22 上王子神社（かみおうじ）	小松島市田浦町字西原87	不詳	譽田別命	旧村社	明神・天保7年1836（花崗岩）
23 中王子神社（なかおうじ）	小松島市田浦町字西中185	不詳	譽田別命	旧村社	明神・文政9年（花崗岩）
24 下王子神社（しもおうじ）	小松島市田浦町字近里9の1	不詳	譽田別命	旧村社	明神・平成28年（花崗岩）
25 曰吉神社	小松島市田浦町字中村19	不詳	大山作命	旧村社	明神・元治1年（花崗岩）
26 三十八社	小松島市日開野字時信10	不詳	天之御中主神	旧無各社	明神・紀元2千6百年昭和15年（花崗岩）
27 鎮守神社（出雲大社）	小松島市日開野字北開	—	大国主命	—	明神・平成20年（花崗岩）
28 春日神社	小松島市新居見町字山路33	不詳	天児屋根命	旧村社	
29 八幡神社（くになか）（市史は国中）	小松島市芝生町字東屋敷25の12	不詳（市史は貞享2年）	国常立命（市史は大国主命）	旧無各社	台輪・天保11年1840（花崗岩）
31 鎮守神社（八百萬神社）	小松島市芝生町字西居屋敷	—	八百万合口	—	明神・昭和50年（人造石洗出）
32 妙見神社	小松島市芝生町字宮ノ前	—	御祖命	—	明神・昭和58年（人造石洗出）
33 住吉神社	小松島市田野町字勢合33	不詳	錦津見神	旧無各社	明神・（花崗岩）
34 天王神社	小松島市田野町字烏居本12	奈良時代	素戔鳴命 大己貴命 稲田姫命	旧村社	明神・大正8年と萬延元年1860（花崗岩）
35 龍王神社	小松島市田野町字高田	—	豊玉比売命	—	明神・昭和11年（花崗岩）
36 戎神社	小松島市田野町字仮屋	—	事代主命	—	明神・昭和32年（花崗岩）
37 杉尾神社	小松島市田野町字島居本	—	—	—	明神・昭和47年（人造石洗出）
38 金刀比羅神社	小松島市赤石町4の15	不詳	金山彦命 菅原道貞公 稲倉魂	旧村社	明神・安政6年（花崗岩）
39 豊浦神社	小松島市赤石町6の60	不詳	手力男命	旧村社	明神・大正4年（花崗岩）
40 曰吉神社	小松島市大林町字中村90	不詳	大山作命 大国主命	旧無各社	本殿
41 東宮神社	小松島市大林町字北浦45	不詳	大日丁命（市史は天照大神）	旧無各社	台輪・平成21年（花崗岩）
42 事代主神社	小松島市大林町字中津	—	事代主神	—	明神・文久元年1861（花崗岩）
43 天神社	小松島市大林町字岩戸33	不詳	菅原道貞公	旧無各社	明神・昭和27年（花崗岩）
44 八坂神社（攝社：杵築神社）	小松島市大林町字本村36	不詳	素戔鳴命 大己貴命 事代主命	旧村社	明神・明治34年（花崗岩）
45 西宮神社	小松島市大林町字中津	—	—	—	台輪・平成21年（花崗岩）
46 事代主神社	小松島市和田島町字西林11の1	安政年間	蛭子神	旧無各社	明神・（塩ビ）
47 若宮神社（春日神社境内）	小松島市和田島町字山のはな12	不詳	大田田根子命	旧無各社	明神・昭和4年（花崗岩）
48 八坂神社	小松島市和田島町字元開62の2	不詳	須佐之男命（市史は素戔鳴命 稲田姫命）	旧無各社	明神・昭和5年（花崗岩）
49 春日神社	小松島市和田島町字明神北129	不詳	天児屋根命 上筒男命 中商男命 底筒男命	旧村社	明神・昭和4年（花崗岩）
50 陶木神社	小松島市和田島町	—	居木伊賀守道德公	—	明神・（花崗岩）
51 五所神社（和田津神社）	小松島市和田島新田	—	大綿津見命	—	明神・明治23年（花崗岩）
52 船戸神社	小松島市和田島町	—	—	—	
53 八幡神社	小松島市坂野町字宮ノ東41の1・42の2・41の3	永禄元年（1558）	譽田別命 足仲彦命 氣長足姫	旧村社	明神・昭和4年（花崗岩）明神・平成8年（花崗岩）
54 事代主神社（蛭子神社）	小松島市坂野町字カ里や開51（市史は列戸）	寛文2年（1662）	事代主命	旧無各社	明神・昭和25年（花崗岩）
55 船越神社	小松島市坂野町字舛屋	—	—	—	明神・昭和25年（花崗岩）
56 野上神社（野神神社）	小松島市坂野町字上原り6・6の3	安永5年（1776）	野槌姫命	旧無各社	神明・（花崗岩）根上り協会
57 春日神社	小松島市坂野町字春17の1・2	永禄元年（1558）	天児屋根命 節志和姫命	旧村社	明神・明治33年（花崗岩）
58 天満神社（天満宮八幡神社）	小松島市坂野町字岡の下	大正5年	菅原道貞公	旧村社	明神・昭和4□年（人造石洗出）
59 三好神社	小松島市坂野町字目佐	明治37年頃	—	—	明神・昭和15年（花崗岩）
60 曰吉神社	小松島市坂野町字加喜内67・68	寛徳元年（1044）	大山作命	旧村社	明神・寛政15年1803（花崗岩）
61 島宮神社（しまのみや）	小松島市坂野町字島ノ内148・148の2	寛永元年（1624）	國常立尊	旧村社	明神・昭和47年（人造石洗出）・明神・大正元年（花崗岩）
62 遠都祖神社（とおつわや）元祖神社	小松島市坂野町字境野2	元和元年（1615）（市史は元和9年）	伊弉諾命 伊弉冉命	旧無各社	明神・大正11年（花崗岩）
63 丸川神社	小松島市坂野町字島ノ内	—	—	—	明神・昭和3年（花崗岩）
64 細川神社	小松島市坂野町字目佐	—	—	—	明神・平成4年（花崗岩）
65 若宮神社	小松島市坂野町豊田	—	—	—	明神・平成8年（花崗岩）
66 出日大明神	小松島市坂野町字北大久保	—	—	—	明神・昭和63年（花崗岩）
67 八幡神社	小松島市立江町字青森109	不詳（市史は文明年間）	譽田別命 帯仲彦命 息長足比	旧郷社	明神・享保16年1731（花崗岩）
68 水神社	小松島市立江町字青森109（八幡神社境内北）	仁寿3年（853）	水波乃生命	—	明神・昭和53年（人造石洗出）
69 多守神社（たもり）	小松島市立江町字若松66	不詳	少彦名命 草之比売命 鬼沙門	旧無各社	明神・昭和61年（人造石洗出）
70 秋葉神社	小松島市立江町字清水15（きよず）	不詳	大己貴命 輢邇突智命	旧無各社	明神・昭和元年（花崗岩）
71 天神社	小松島市立江町字清水	—	菅原道貞公	—	
72 諏訪神社	小松島市櫛渕町字小松5の2	不詳	建御名方命	旧無各社	明神・昭和10年（花崗岩）
73 諏訪神社	小松島市櫛渕町字諏訪86	文龜2年（1502）	建御名方命	旧無各社	台輪・昭和13年（花崗岩）
74 八幡神社	小松島市櫛渕町字太田1	寛仁年間の頃	譽田別命 息長足姫命 比売大神	旧村社	明神・明治36年（花崗岩）
75 天満神社	小松島市櫛渕町字油免84	明治4年（1871）	菅原道貞公	旧無各社	明神・昭和8年（花崗岩）
76 加勢山神社	小松島市櫛渕町字宮ノ内16	元禄年間か享保十年（1725）（市史は享保十年）	事代主神	旧無各社	木造
77 天満神社	小松島市櫛渕町字諏訪五山の第四山	—	菅原道貞公	—	明神・昭和14年（花崗岩）
78 若宮神社	小松島市櫛渕町字東谷	—	若年命	—	木造
79 秋葉神社	小松島市櫛渕町	—	—	—	台輪・平成18年（花崗岩）
80 田左衛門大明神（猩）	小松島市田浦町字岩金	—	—	鳥居	木造

※小松島市史（下巻）※風土記（1977）※徳島県神社誌（1981）※徳島県神社誌 改訂（2019）

令和4年5月現在

本殿 建築様式	拝殿 建築様式 向拝	特記事項	地鎮塔
木造一間社流造銅板葺 (H11)	—		
木造一間社流造 銅板葺	RC造	旧神饌幣帛料供進社・本殿及び拝殿：昭和43年改築 平成6年社殿修繕	
木造一間社流造	木造切妻造 銅板葺 向拝一間	本殿（推定：昭和頃） 拝殿：平成14年昭和47年新築の碑文	
木造一間社流造 鉄板葺	木造入母屋造 本瓦葺 向拝一間	本殿：昭和31年	
木造一間社流造 見世棚	RC造片入母屋（妻入）	昭和14年創建 参道入口に地鎮塔あり天保4年（御影）	
木造神明造銅板葺 (H2改築)	木造入母屋造（妻入）桟瓦葺 向拝一間縫破風 平成6年拝殿改築		
木造一間社（正面一間、側面二間）春日造銅板葺 (H18改築)	木造五間×三間入母屋造本瓦葺向拝一間大唐破風（額面M35）		地鎮塔（花崗岩）
木造一間社流造銅板葺 (H11移転改築)			
RC造の覆屋内未確認	木造入母屋造本瓦葺向拝一間大唐破風（S57改築）	延喜式小社	地鎮塔（撫養石）
拝殿内未確認	木造片入母屋（妻入）銅板葺		
木造一間社切妻銅板葺 (S46改築)	木造五間×三間入母屋造本瓦葺向拝一間大唐破風（推定：明治末～大正期）	旧神饌幣帛料供進社、昭和46年に本殿幣殿客殿を改築	
拝殿内未確認	木造銅板葺	幣殿客殿を改築	
木造一間社入母屋造銅板葺向拝縫破風	—		
拝殿内未確認	木造切妻RC屋根向拝一間（S46改築石碑）		
拝殿内未確認	RC造		
RC造 (S58)	RC造入母屋造本瓦葺 (S58)	旧豊國神社礎石：中田町字奥林より移転	地鎮塔□政11年（撫養石）
木造一間社春日造とち葺（覆屋）	木造三間入母屋造本瓦葺向拝一間大唐破風		
RC造一間社流造 (S50)			
拝殿内未確認	木造切妻（妻入）桟瓦葺（新しい）		
木造一間社流造 銅板葺（覆屋）	木造五間切妻造本瓦葺向拝一間大唐破風（推定：M20頃・本殿も同時期か）	狸の石碑（安政4・慶応4他）	
木造一間社流造（覆屋内詳細未確認）	木造入母屋造本瓦葺向拝一間縫破風 (H6改築)	旧神饌幣帛料供進社	地鎮塔（撫養石）宝暦10年
S造一間社流造銅板葺 (S54改築)	木造三間入母屋造本瓦葺向拝一間縫破風	本殿青石基壇H=2.5m高い	
木造一間社流造銅板葺	木造三間切妻造本瓦葺向拝一間縫破風	旧神饌幣帛料供進社	
RC造一間社流造 (H元)	RC造入母屋造 (H元)	旧神饌幣帛料供進社	
木造一間社流造鉄板葺	木造三間切妻造桟瓦葺向拝一間縫破風 (H25改築)	旧神饌幣帛料供進社 本殿青石基壇高い 本殿（絵様より推定：江戸中期頃）	地鎮塔（撫養石）
木造宮殿	木造片入母屋（妻入）桟瓦葺向拝一間縫破風		地鎮塔（撫養石）
拝殿内未確認	木造入母屋造桟瓦葺向拝一間大唐破風 (S53年改築)		地鎮塔（撫養石）
木造一間社流造板軒（覆屋内詳細未確認）	木造入母屋造本瓦葺向拝一間大唐破風（拝殿M44石段）	旧神饌幣帛料供進社 境内の小社殿：王子神社・妙見神社・天神社	地鎮塔（撫養石）
木造（新しい）	RC造 (H3改築)	攝社：王子神社RC造	地鎮塔（撫養石）
木造一間社流造	RC造 (S53改築)	野上神社：S48遷宮モルタル造・鳥居：明神洗出S48	地鎮塔（撫養石）
RC造	RC造	境内社：秋葉神社・木造小社殿	
RC造 (S58年)	RC造入母屋造向拝軒破風 (S58年)		
木造小社殿（覆屋内）	木造切妻造本瓦葺向拝一間縫破風 (T9)	下の社殿：木造入母屋本瓦葺（推定：S20頃）	
木造三間社流造（推定：明治期）H15屋根改修	木造入母屋造瓦葺向拝一間大唐破風 (M34)	旧神饌幣帛料供進社 一国一社天王社	
木造小社殿（一間社流造）	RC造 (S37年)		地鎮塔（撫養石）
木造小社殿（見世棚造）	木造切妻造（妻入）桟瓦葺（新しい）		
木造一間社流造	木造三間切妻造本瓦葺向拝一間大唐破風		
覆屋内未確認	木造切妻造桟瓦葺向拝一間縫破風 (H20改築)		地鎮塔（撫養石）
木造一間社流造 (T15上棟式)	木造入母屋造本瓦葺向拝一間大唐破風	旧神饌幣帛料供進社	地鎮塔（撫養石）
拝殿内未調査	木造片入母屋（妻入）本瓦葺		地鎮塔（撫養石）
モルタル洗出し造小社殿（2社）			
木造一間社流造（覆屋に入る）(H15再建)	木造切妻造銅板葺向拝一間縫破風 (H15再建)		地鎮塔M15（撫養石）
拝殿内未確認	木造入母屋造本瓦葺破風		
八坂神社と杵築神社が覆屋に並ぶ 八坂神社：木造一間社流造	木造入母屋造桟瓦葺向拝一間縫破風（拝殿：H14再建）		地鎮塔（花崗岩）
板軒・杵築神社：木造一間社流造			
モルタル洗出し造小社殿			
木造宮殿	木造切妻造向拝一間縫破風	敷地内に和田島弁財天 (RC造) 昭和56年宮大工河口祝	
拝殿内未確認		春日社に右若宮社、左八幡社	
木造小社殿	RC造切妻造		
拝殿内未確認	RC造入母屋造千鳥破風銅板葺 春日神社改築昭和63年	春日社に右若宮社、左八幡社、地鎮塔文口（撫養）境内東側に木造拝殿に事代主社・籠宮社・愛宕社を祀る 寛政8年（撫養石）正三角形で水象文女・大山祇命・勾迺馳命の石塔	
石造一間社流造（花崗岩）（本殿S5改築）	木造切妻造桟瓦葺向拝一間（拝殿S56改築、H30改修）	本殿石匠吉見清八	
拝殿内未確認	木造切妻造（妻入）スレート瓦葺		
石蔵小社殿			
RC造一間社流造銅板葺（屋根下地向拝木造）	RC造入母屋造	旧神饌幣帛料供進社	地鎮塔文化12（撫養石）
木造小社殿	木造切妻造（妻入）本瓦葺向拝一間		
RC造一間社流造	RC造		
木造一間社流造 (S4) 野神神社：RC造一間社流造（小社殿）		根上り大教会入口付近と境内	地鎮塔（撫養石）・S4（花崗岩）
モルタル造小社殿	攝社：氏富社・津乃峰社 共にモルタル造小社殿		
RC造覆屋内未確認	RC造切妻造		地鎮塔（撫養石）
木造小社殿（一間社流造銅板葺）			地鎮塔M28（撫養石）
RC造+木造一間社流造	木造入母屋造本瓦葺向拝一間大唐破風	本殿（推定：昭和期）	
木造一間社流造銅板葺 本殿が2棟並ぶ	木造入母屋造本瓦葺向拝一間大唐破風（拝殿：S28年）	近世社寺建築	地鎮塔（撫養石）青石基壇
モルタル造小社殿	木造切妻造桟瓦葺		
木造小社殿（見世棚造）			
モルタル造小社殿（一間社流造）			
石造小社殿（花崗岩）	木造入母屋造（妻入）桟瓦葺		
石造小社殿 一対（花崗岩）			
木造一間社流造	木造入母屋造本瓦葺向拝一間大唐破風	旧神饌幣帛料供進社	地鎮塔（撫養石）
覆屋内未確認	木造切妻造鉄板葺向拝一間（拝殿：S53改築）		
集会所内に木造宮殿を安置	森丁集会所RC造		
覆屋内未確認	木造入母屋造本瓦葺向拝一間縫破風 拝殿（推定：江戸末～明治）		
木造一間社流造銅板葺		H18天神山より遷座	
木造小社殿 (S37上棟)		脇社：野神社	
木造一間社流造柿葺 (S54にS3造覆屋)	木造切妻造桟瓦葺向拝一間	本殿（推定：大正～昭和初期）	
木造一間社流造銅板葺	木造切妻造桟瓦葺向拝一間	旧神饌幣帛料供進社 本殿（推定：昭和～平成頃）	地鎮塔（花崗岩）
木造一間社流造板葺	木造切妻造桟瓦葺 (H19改築)	攝社：葛城神社 (S8) 本殿（推定：平成頃）	
木造一間社流造大和葺（折屋根）（推定：江戸後期頃）木造覆屋内	木造切妻造本瓦葺	本殿の傷みが激しい	
木造一間社流造板葺 木造覆屋内	木造切妻造S形スレート瓦葺	本殿の傷みが激しい	
木造小社殿	木造切妻造 拝殿（推定：S56頃）		
木造宮殿	木造片入母屋（妻入）（推定：平成頃）		
石造小社殿			

表2 寺院とお堂建築調査一覧

寺院名	所在地	宗派・本尊	建物名	屋根形式	屋根材	特記事項
1 地蔵寺	小松島市松島町11-26	真言宗・地蔵菩薩	山門：木造三間一戸ハ脚門（仁王門）切妻造本瓦葺・本堂（玄関付書院）	本堂（玄関付書院）：県指定文化財	寶珠	
2 光善寺	小松島市松島町13-43	浄土真宗	大師堂：木造三間堂宝形造本瓦葺軒唐破風・多宝塔：木造（M16）・鐘楼：木造四脚鐘台弓彌腰・鎮守堂	本堂：木造三間入母屋本瓦葺向拝一間総破風	本堂：登録有形文化財	
3 成願寺（じょうがんじ）	小松島市中田町奥林6	黄檗宗・阿弥陀如来	本堂：木造三間×三間宝形二重本瓦葺向拝一間総破風（二重の軒：扇垂木）	本堂：木造四脚鐘台入母屋造	本尊：本尊の記載なし	
4 桂林寺（けいりんじ）	小松島市中田町寺前27	真言宗・釈迦如来	本堂：木造三間堂入母屋造本瓦葺	本堂：木造三間堂宝形造向拝一間・銅板葺	觀音堂（推定：昭和以降）	
5 観音渡寺	小松島市中田町浪井	真言宗・觀世音菩薩	觀音堂：木造三間堂宝形造向拝一戸RC造	本堂：RC造（H13改築）	山門：RC造	
6 堀越寺	小松島市中郷町豊ノ本5	真言宗・觀世音菩薩	仁王門：木造平入四脚門総破風M23（寺伝）・方丈：木造平入母屋造本瓦葺T3・庫裡：木造平入母屋造本瓦葺T3・本堂：木造三間寄棟造銅板葺向拝広一間総破風幕末から明治期・鐘樓	本堂：木造入母屋造本瓦葺	入母屋造本瓦葺	
7 恩山寺	小松島市田野町字恩山寺谷40	真言宗・藥師如來	造三間×三間寄棟造銅板葺向拝広一間総破風幕末から明治期・大師堂：木造三間堂宝形造本瓦葺向拝一間総破風幕末から明治期・御母公堂：木造宝形造棟瓦葺向拝（後補）	本堂：木造入母屋造本瓦葺	本堂：木造平入母屋造本瓦葺	
8 福成寺	小松島市田浦町字東内129	真言宗・阿弥陀如來	本堂：木造五間寄棟造茅葺トタン巻三方下屋本瓦葺	本堂：木造三間堂宝形造茅葺トタン巻三方下屋本瓦葺	民家型本堂	洪水で流されて現在の場所に移り元の材料で再建
9 観音寺（子安山觀音寺）	小松島市市田浦町子安73	金峯山修驗本宗・如意輪觀音	木造三間堂宝形造銅板葺一間向拝総破風（S51）	木造三間堂宝形造銅板葺一間向拝総破風（S51）		
10 円福寺	小松島市日開野町井理守46	真言宗・藥師如來	木造宝形造本瓦葺 山門：RC造	木造宝形造本瓦葺 広一間向拝 山門：木造三間一戸ハ脚門（仁王門）	山門：RC造	
11 藤樹寺（とうじゅじ）	小松島市日開野町末次23-2	真言宗・藥師如來	切妻造棟瓦葺庫裏（S56改築）鐘樓：木造四脚鐘台入母屋造棟瓦葺（S61）	木造本瓦葺 広一間向拝 山門：木造三間一戸ハ脚門（仁王門）	本堂（推定：大正～昭和期頃）	
12 宝聚寺	小松島市江田町腰前170	真言宗・地蔵菩薩	本堂：木造入母屋造銅板葺一間向拝軒唐破風（S59改築）	木造入母屋造銅板葺一間向拝軒唐破風（S59改築）		
13 立江寺	小松島市立江町若松13	真言宗・地蔵菩薩	山門：三間一戸ハ脚門（樓門）入母屋造本瓦葺（M10建立（棟札））・本堂：RC造+木造入母屋造銅板葺一間向拝軒唐破風千鳥破風（S52再建）・大師堂：木造正面三間宝形造本瓦葺向拝軒唐破風T8再建（寺伝）・多宝塔：木造三間多宝塔初重本瓦葺二重本瓦葺形銅板葺T12・庫裏・鐘樓：木造入母屋造本瓦葺四脚鐘台・手水舎	木造入母屋造本瓦葺		
14 景岩寺	小松島市立江町清水17	曹洞宗	本堂：木造入母屋造棟瓦葺一間向拝総破風・車裏（H2改築）	本堂：木造正面上部五間寄棟造広一間向拝総破風・山門木造薬医門・鐘樓		
15 法泉寺	小松島市篠列町山口	曹洞宗・釈迦如來	木造四脚鐘台切妻造本瓦葺（鐘S31）・車裏（H17）	木造正面上部五間寄棟造本瓦葺（鐘S31）・車裏（H17）		
16 現福寺（げんぶくじ）	小松島市大林町本村59	真言宗・藥師如來	本堂：RC造三間堂入母屋造棟瓦葺（S57新築）・山門RC造+木造	本堂：RC造三間堂入母屋造棟瓦葺（S57新築）・山門RC造+木造		
17 神宮寺	小松島市坂野町宮ノ東3	真言宗・阿彌陀如來	本堂：三間堂RC造入母屋造銅板葺（S52新築）	本堂：三間堂RC造入母屋造銅板葺（S52新築）		
18 清水寺（立江寺奥之院）	小松島市立江町清水	真言宗	本堂：木造三間堂宝形造棟瓦葺一間向拝総破風（S55落成）H18大修理	本堂：木造三間堂宝形造棟瓦葺一間向拝総破風（S55落成）H18大修理		
a 薬師庵（岩金薬師）	小松島市田浦町字岩金	薬師如來	RC造（H元改築）	RC造（H元改築）		

※小松島市史 風土記（1977）※阿波のお堂（1988）

RC造:鉄筋コンクリート、S造:鉄骨

4. 小松島市の各社寺建築

1) 天満神社本殿 (表1-17)

鎮座地—中郷町字桜馬場104

[本殿] 木造一間社春日造（見世棚造） とち葺
身舎一円柱 切目長押 内法長押 頭貫木鼻（拳）
大斗肘木 二軒繁垂木 切石基壇（砂岩）
妻飾・虹梁 猪子扱首 猪目懸魚

開閉装置・板戸
向拝一角柱（几帳面） 虹梁形頭貫木鼻（拳） 大斗
肘木 一軒繁垂木 繫海老虹梁 腰・板張
千木一不明 堅魚木一不明

(図6～9)

この社は、小松島市の北西部、中郷町に鎮座する。徳島県神社誌改訂によると、『寛保改神社帳』に「中郷村天神 別当同村天満寺」、『阿波志』に「菅廟中郷村に在り」と記述がある。

本殿は、一間社春日造のとち葺で、砂岩の切石基壇に載り、前半分は幣殿内に、後半分は覆屋に囲われている（図6）。

身舎部分は、円柱を切目長押、内法長押で固め、柱頭部は頭貫木鼻（拳）が付き、大斗と肘木が載る。柱間には中備を置かない。軒は二軒繁垂木とし、妻飾は虹梁の上に猪子扱首を組み、棟を支える。開閉装置は板戸を吊る。

向拝部分は、几帳面の角柱を虹梁形頭貫木鼻（拳）で固め、組物は大斗と肘木を載せ、柱間は身舎部と同じく中備を置かない。軒は一軒繁垂木とし、繫海老虹梁で身舎と繋ぎ、その上に障泥板を掛ける。障泥板は向拝と身舎の軒裏取合部に設けるもので、端から端まで通すことは珍しい（図7）。階や高欄が付かない見世棚造で、腰は板を張る。

棟札などによる建築年代の確認はできなかったが、虹梁の絵様により江戸時代後期から末期と推測



図6 本殿全景

される。絵様はシンプルで、渦の玉が小さく、若葉が渦から離れている形態であった（図8）。また、改造はほとんどみられず、建築当初の姿を残す小規模な本殿建築として貴重である。今後、建築年代を特定できる資料が発見されることを期待する。

今回の調査において春日造の本殿建築は、この社と東八幡神社の2社であった。東八幡神社本殿は平成18年に建て替えられている。



図7 障泥板



図8 絵様

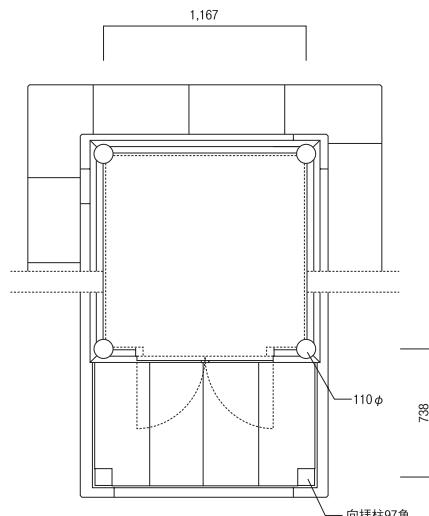


図9 平面図

2) 春日神社本殿（表1-28）

鎮座地－新居見町字山路33

[本殿] 木造一間社流造 板葺

身舎－円柱（上粽）切目長押 内法長押 頭貫木鼻
 （拳）大斗肘木 板軒 切石基壇（和泉砂岩）
 妻飾・虹梁大瓶束 開閉装置・棧唐戸

向拝一角柱（几帳面） 虹梁形頭貫木鼻（象） 大斗
 中備 蓑股 繫海老虹梁 階 四級（板：後補）
 束立腰板張 見世棚

千木－無 壱魚木－無

（図10～13）

この社は、天児屋根命を祭神とし、小松島市の北西部、新居見町山路の山裾に鎮座する。創建年代は不詳であるが、『徳島県神社誌』によると「春日大明神と称した。元禄七年（1694）八月再建し、明治三年に春日神社と改称す」の記述がある。

本殿は、一間社流造（折屋根）板葺で和泉砂岩の切石基壇に載る。

身舎部分は覆屋に安置されており、円柱（上粽）を建て切目長押と内法長押で固め、柱頭部には拳鼻付きの虹梁形頭貫が付き、台輪を省略し、直接大斗と肘木が載る。柱間に彫刻などは無く簡素な造りとなっている。妻飾は虹梁大瓶束に大斗が載り、軒は板軒とする。（図11）

向拝部分は幣殿内にあり、几帳面の角柱を立て、虹梁形頭貫で固め象の木鼻が付く。柱間に中備蓑股を填め、繫海老虹梁で身舎と繋ぐ。縁は無く見世棚を設け、階は後補ではあるが、四級の板階段とす

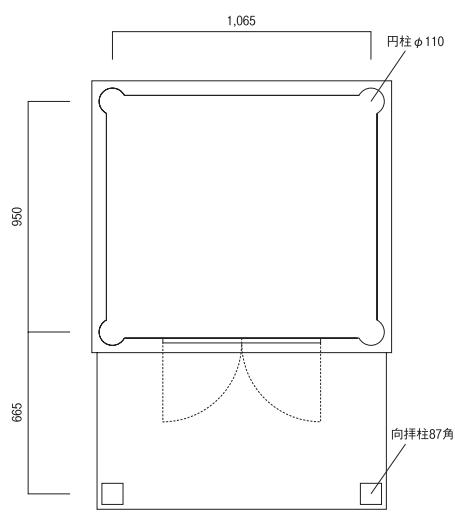


図10 本殿平面図

る。向拝柱の象の木鼻には、彩色の痕跡（胡粉）が見られ、往時の面影を見ることが出来る。（図12）

今回の調査で11枚の棟札が確認でき、上葺（屋根の葺替え）の棟札が多い中、最も古いものは元禄7年（1694）のもので再建立と記されている。また、弘化3年（1846）、明治3年（1870）、明治23年（1890）再興の棟札も存在することから、建築年代は、棟札より明治期のものと推察される。しかし、彩色の痕跡のある木鼻などは絵様等の様式より江戸中期（元禄）の部材がそのまま用いられていると考えられる。（図13）



図11 本殿正面



図12 向拝柱頭貫木鼻



図13 棟札

3) 天王社本殿 (表1-34)

鎮座地—田野町字鳥居本12

[本殿] 木造三間社流造 鉄板葺

身舎—円柱(上粽) 切目長押 内法長押 頭貫木

鼻(拳) 平三斗 中備幕股(彫刻) 二軒繁
垂木 妻飾・大虹梁 出組 彫刻板支輪(雲)
二重虹梁 大瓶束笈形付 猪目懸魚 開閉裝
置・棟唐戸

向拝一角柱(几帳面, 上粽) 虹梁形頭貫木鼻(龍)

錫杖彫 出三斗(両端部連斗付) 彫刻幕股
繫海老虹梁 手挟 三方切目縁 別高欄
脇障子(板) 階七級(木口) 昇擬宝珠高欄
浜床 腰組・束立貫 亂石積基壇(青石)

千木—2本 堅魚木—3本

(図14～17)

この社は、小松島市の中央部、田野町に鎮座する。小松島市史に、「縁起によると、聖武天皇は諸国に社を建立させて悪疫平癪五穀豊穣と牛馬の安全を祈らせられた。この時阿波の国に建てられた阿波一國のお社である。」と記述がある。

本殿は、三間社流造の鉄板葺で、青石(緑色片岩)の乱石積基壇に載る(図14)。身舎部分は、円柱を切目長押、内法長押で固め、柱頭部は頭貫木鼻(拳)が付く。組物は平三斗で、中央部は大斗に木鼻(拳)と巻斗に木鼻(象)が付くことが珍しい(図15)。柱間に中備幕股を填め、動植物や貝などの多様な彫刻が施され華やかである。軒は二軒繁垂木、妻飾は大虹梁の上に出組の組物を置き、二重虹梁を載せ、笈形付の大瓶束で棟を支える。出組の軒は彫刻板支輪を填める。

向拝部分は、几帳面の柱を虹梁形頭貫で固め、頭貫下面に錫杖彫が施されている。柱頭部の組物は出



図14 本殿全景

三斗で、両端部は龍の頭貫木鼻の上に斗を置き、連斗を受ける。柱間に彫刻幕股を填め、繫海老虹梁と手挟で身舎と繋ぐ(図16)。縁は三方切目縁とし、別高欄が脇障子に取り付く。階は七級の木口階段で、昇擬宝珠高欄を付け、浜床を張る。腰組は束を立て、貫を通す。

棟札による建築年代の確認できなかったが、様式(虹梁の絵様や彫刻)により明治時代初期と推測される。屋根改修が平成15年(2003)にみられるが、改造はほとんど無く、建築当初の姿をよく残している。今回の調査において小松島市で唯一の三間社であり、大規模な本殿建築として貴重である。



図15 身舎の組物



図16 向拝の組物

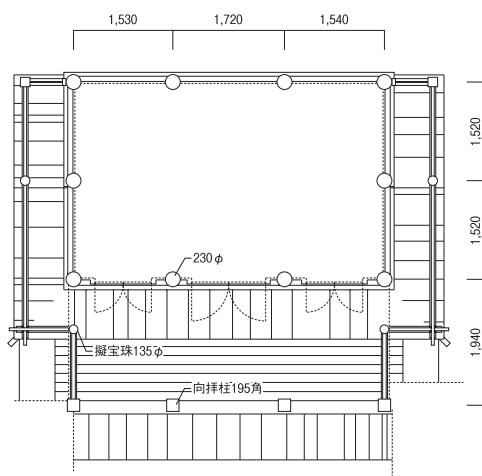


図17 平面図

4) 地蔵寺大師堂（表2-1）

所在地－松島町11-26

木造 正面三間 奥行三間 宝形造 本瓦葺
 向拝 広一間縋破風軒唐破風
 主屋一円柱 切目長押 内法長押 頭貫木鼻（拳）
 台輪木鼻 平三斗 二軒半繁垂木 開閉装置
 正面格子戸 側面障子戸 切石礎石
 向拝一角柱（几帳面）虹梁形頭貫 木鼻（猿，龍）
 出三斗送斗付 繫虹梁 手挟（籠彫）彫刻幕股
 三方切目縁 腰 束立貫 切石基壇（花崗岩）
 階三級（花崗岩）

（図18～26）

この寺は、小松島市の北東部、港町として栄えた市街地のほぼ中心に位置する。真言宗大覚寺派に属し、山号は國傳山、院号は寶珠院と称する。弘法大師開基、元和7年（1621）中興と伝わる。境内には、県指定有形文化財の本堂（書院及び玄関が指定）や、多宝塔など多くの建物が建つ。

大師堂は、正面三間、奥行三間の宝形造本瓦葺で、縋破風で広一間の向拝を延ばし、正面は軒唐破風とする。背面に仏間を下屋で張出す。外周部は花崗岩の切石を回し基壇とする。

主屋は、切石礎石（一部は、墓石を転用）に円柱を建て、地貫、切目長押と内法長押で固め、柱頭部には籠彫の拳鼻付の頭貫と台輪木鼻が載る、正面頭貫は地紋彫を施す。組物は、平三斗とする。柱間に彫刻幕股を置き、正面欄間には、猿や鷹の彫刻を飾る。（図20, 21）軒は、二軒半繁垂木とし、開閉装置は正面には格子戸、側面は障子戸と雨戸を填める、正面には当初材のわら座が残り、開戸から引違戸に改修されたことが解る。

向拝は（図22, 23）、砂岩の礎盤の上に、几帳面の角柱を建て、龍の木鼻の付く虹梁形頭貫で固め、正面は猿の木鼻を付ける。柱頭部の組物は、出三斗（送斗付）とし、手挟（籠彫）を付け固める。主屋の柱筋の頭貫上面に出三斗を置き、虹梁で主屋と繋ぎ、軒先には菖蒲軒を張出す。大斗と卷斗上部の肘木を通し肘木とし、向拝柱頂部の組物と繋いで受けている。中備には、幕股を置く。正面中央部の丸桁は虹梁形とし、上部に龍の彫刻を填める。軒は、二軒半繁垂木とし、唐破風部分は、板軒とし雲を彫る。

縁は、三方切目縁で、腰は束立貫とする。階は、花崗岩の石段で3級とする。



図18 全景

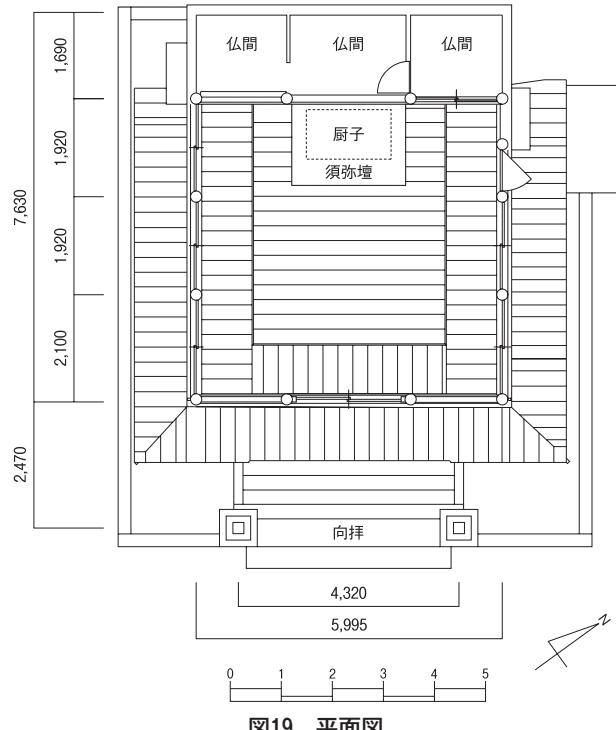


図19 平面図

内部は、内陣と下屋の仏間の2室に区切る。（図24）円柱などの木部は、漆塗とし、彩色を施し、來迎柱は金箔を張る。台輪上部の漆喰壁にも彩色を施す。前筋組物と側面及び奥筋の大斗寸法が違っており、向拝回りは後補と考えられる。（図25, 26）

北側側面も近年、柱の取替を行っている。奥筋の仏間は、虹梁形飛貫を付け正面性を意識している、須弥壇裏側にも虹梁形飛貫があり、須弥壇と円柱の隙間を板で伏せており、当初須弥壇は無く、仏間に

仏像を納めていたと思われる。建築年代は、内部の絵様から江戸後期と考えられるが、向拝周辺は江戸末期から明治期に手を加えたものと思われる。内部は、彩色された上質な造りで、向拝周囲も秀逸な彫刻が施された堂宇である。



図23 向拝側面



図20 主屋正面



図24 内部正面



図21 主屋正面 欄間彫刻



図25 内部組物 向拝側柱筋



図22 向拝正面



図26 内部組物

5. おわりに

今回の調査では、神社および寺院建築それぞれにおいて、江戸時代後期頃から近代に建立された神社本殿や堂宇などが現存することを確認した。

また、自然災害の伝承として、田浦町の福成寺（図28）は、寄棟造茅葺き（トタン巻）三方下屋の民家型寺院本堂で、勝浦川の洪水で流されて現在の位置に移り、元の建物の材を集めて再建されたという。同じ田浦町の中王子神社本殿（図27）においても、洪水被害に備え石垣を高く積み上げた基壇の上に建っている。また、松島町の光善寺は、安政の地震（1854）で全焼し、その後の再建と伝わる。

柳渕町の賀勢山神社や上天満神社（図29）などは、山間の昔ながらの拝殿や本殿の形態をそのまま残しているが、本殿は覆屋で保護されているものの、なかの建物の傷みが激しく、早めの措置が必要と思われる。

今回調査した社寺において、棟札を調査、確認できなかったものについては、建築様式から推察した。棟札は建築年代を調べる上で重要な手掛かりとなるため、取り扱いに注意して、適切に保管していただきたい。

また、今回の調査においては、たくさんの神社、寺院の関係者、住民の方々のご協力をいただきました。この場を借りてお礼を申し上げます。



図27 中王子神社本殿



図28 福成寺 民家型寺院本堂

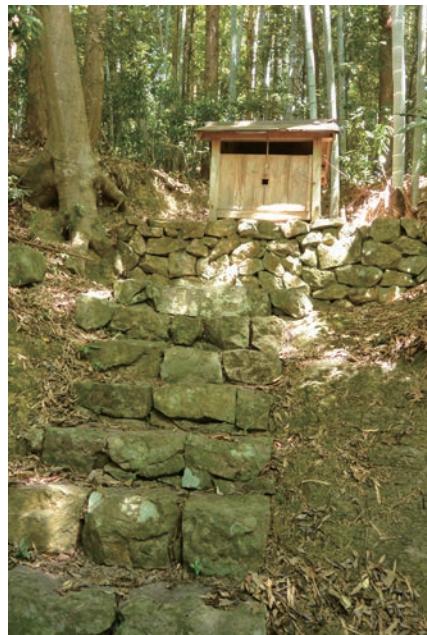


図29 上天満神社本殿（覆屋）

参考文献

- 小松島市史編纂委員会（1988）：『小松島市史下巻』
徳島県神社庁強化委員会（1981）：『徳島県神社誌』
徳島県神社庁強化委員会（2019）：『徳島県神社誌 改訂』
奈良国立文化財研究所編（1990）：『徳島県の近世社寺建築（近世社寺建築緊急調査報告書）』徳島県教育委員会
阿波のお堂の風俗研究会（1988）：『阿波のお堂』徳島県出版文化協会
(社) 徳島県建築士会阿波のまちなみ研究会（1997）：『阿波の社寺建築』阿波のまちなみ研究会